



島田療育センターニュース

第279号
2019年10月1日

センターニュースをお読みの皆様へ

院長を補佐する任務として、各種委員会*の活動を通じてセンター全体に関与しています。こうしたチーム、あるいは組織を如何に有効かつ効率的に運営するかは、直接的なサービスの質に関わってきます。そのためにはケアや治療の専門職としての研鑽だけではなく、コミュニケーション、時間管理、人に伝わる論理的な話し方などのスキルも必要です。また、個々の職員が島田療育センターの大きな目的・目標を踏まえて、自己の目標を持って意欲的に取り組み、職員間で目的や意義を共有する作業も必要です。昨今の働き方改革とも関係

しますが、職員の働きやすさは必ずしも職員個人のためではなく、利用者様へのサービスの向上につながるものと存じます。



副院長
学術研究・研修部部长
有本 潔

*各種委員会

院内感染対策委員会 (委員長・ICD)、IT科推進委員会 (委員長)、安全衛生委員会 (産業医)、MAPCAP委員会 (委員長)、倫理委員会 (副委員長)、発達支援センターメディカルアドバイザー など

島田療育センター

わいわい祭り 2019

9月14日(土)、当センター夏の一大イベント「わいわい祭り2019」を開催。厚い雲に覆われていましたが雨に降られる事もなく、涼しくて過ごしやすーい一日となりました。

2年目となる「みんなが主役！」で各部署ごとに作りあげたわいわい祭りは、いつも以上に大盛況で来場者数

は昨年より200名も増えました。これまで地域の方々や団体との交流を大切にしてきた成果が実ったのだとすれば嬉しい事です。

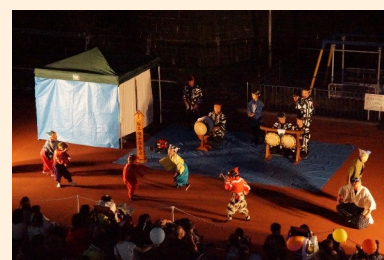
今や島田のアイドルとなった季節職員・3匹のヤギさん達も参加し、堂々とした接客を見せていました。お祭りのクライマックスはお囃子演奏からの打ち上げ花火です。

今年はプロにお願いしたので、予想以上に立派で大きな花火が裏山の夜空に高く上がりました。利用者様、ご家族の皆様、ボランティアの方々、職員、全員が笑顔で楽しんでいる姿は次回へのやる気につながります！

(編集委員 中野 智子)



今年は打ち上げ花火が復活！今回はプロの花火師にお願いし、裏山から迫力のある花火をご覧いただきました。



桜木囃子保存会の皆様には軽快なお囃子の演奏に合わせた獅子舞・ひよっとこの演舞をご披露いただきました。



多摩消防署のご協力により、グラウンドには消防車がスタンバイ！写真撮影や乗車体験もさせていただきました。

わいわい祭り2019当日の様子



ザ・ワースレスの皆さんは、歌うヒゲと踊るマリオネットのジャグバンド。楽しい歌で病棟も大盛り上がり！



スタジオLevanteの皆様には、各病棟でのフラメンコでお祭りを盛り上げていただきました。



多摩スマイル吹奏楽団の皆さんは、今年も病棟で馴染みのある曲を演奏して楽しませていただきました。



デイケアセンターはくじ引きと物販のコーナー。くじ引きには今回も長蛇の列ができました。



ほっとステーションの作品展示・販売では、たくさんの方が作品を手にとってご覧になっていました。



理学療法室では、ピコピコゲームコーナーを開催。プリクラ作成やスイッチ1つで楽しめるゲームで賑わいました。



外来エリアは、医務部職員による島田版キッズゼニア。お医者さん体験やゲームを楽しめる人気ブースでした。



昨年度も人気だったオリジナルの消しゴムスタンプづくり。今年は前回よりも会場を広げてご用意しました。



普段裏山にいるヤギたちは、グラウンドのふれあいコーナーへ。ふれあいや餌やりのできる人気ブースでした。



中央冷凍産業様による氷の彫刻は、今年は当センターで大人気の「3頭のヤギ」をご用意いただきました。



休憩所であるけやき広場には、涼を取れる水柱も！金魚や花を埋め込んだ素敵な作品は隠れた写真スポットになりました。



厚生棟のフードコートは、次々に商品が売り切れる好評ぶりでした。

平成30年度
事業活動計算書

単位：円

科目	本部拠点	多摩拠点	はちおうじ拠点	合計
サービス活動収益計	26,711,164	4,139,993,879	601,515,426	4,768,220,469
サービス活動費用計	13,160,922	3,923,551,421	590,193,962	4,526,906,305
サービス活動増減差額	13,550,242	216,442,458	11,321,464	241,314,164
サービス活動外収益計	48,981	16,149,740	1,289,602	17,488,323
サービス活動外費用計	67,506	574,422	18	641,946
サービス活動外増減差額	-18,525	15,575,318	1,289,584	16,846,377
経常増減差額	13,531,717	232,017,776	12,611,048	258,160,541
当期活動増減差額	13,672,917	235,842,304	12,611,048	262,126,269

期間：平成30年4月1日
～平成31年3月31日

デイケアセンター青年部 宿泊会

今年は梅雨明けが遅く、待ちに待った真っ青な夏空の下、青年部宿泊会を第1班(8/1～2)第2班(8/8～9)に分かれて実施しました。一日目の午後は夏の風物詩を楽しもうと三々五々テラスに集まり、水鉄砲や金魚すくいを行ったり、幼児部スタッフによる劇『大きなカブ』を観て大いに盛り上がりました。そして夕食後は、のんびりと寛ぎながら、鈴虫の鳴き声(本物です)を聞きながら静かに夜を過ごしました。二日目は、制作活動で

「写真立てづくり」を行いました。皆さんの素敵な笑顔の写真が入ったフレームに、木製ブロックやタイルのシールのパーツから好きな物を選び、飾りつけてオリジナルの可愛い写真立てができ上がると大きな歓声があがりました。キラキラとした夏の二日間をみんなで楽しむ事ができました。

(介護福祉士 林 純子、児童指導員 栗山 安治)



シルベスタ・ベル・クワイアの皆様による トーンチャイムコンサート

8月20日(火)の午後、厚生棟研修室を会場に、「シルベスタ・ベル・クワイア」様によるトーンチャイム・コンサートを開催しました。菅野先生と10名の皆様が奏でる音色は優しさに満ちていました。

(編集委員 高橋 節夫)



障害者本人のためのレクリエーション講座 本人講座

7月28日(日)午後、音楽ボランティアネットワーク『音種♪』の5名をお迎えし、都立多摩桜の丘学園の本人講座を開催しました。前半は、女性ボーカルデュオの穏やかで素敵な歌声を聴きながら、ほっこりとした気持ちになりました。後半は、フルート、サクソ、ギターのソロ演奏に他のメンバーが即興で音を重ねてできあがる、オ

リジナリティいっぱい音楽に引き込まれました。また、サプライズで誕生日の利用者様への歌のプレゼントもあり、会場全体が温かい雰囲気になりました。『音種♪』の皆様とのセッションに、楽しそうな表情をされている利用者様の姿が印象的でした。映像ライブ中継も行い、多くの利用者様に素敵な音楽をお届けすることができました。

(都立多摩桜の丘学園 島田分教室 遠藤 理恵)



ベルブ・ブラス・バンドの皆様による 真夏のコンサート

8月18日(日)の午後、厚生棟研修室を会場に「ベルブ・ブラス・バンド」様によるコンサートを開催しました。20名のメンバーにより、楽しい演奏とダンスパフォーマンスが披露されました。

(編集委員 高橋 節夫)



成人のお祝い

8月8日(木)の午後、厚生棟研修室を会場に「成人のお祝い」を実施しました。例年1月に実施していましたが、感染症流行等に配慮して8月の実施になりました。

今回は2名の成人利用者様をセンター全体でお祝いしました。始めに、ボランティア「アートピア」様から来て頂いたピアニストの方の素敵な演奏を鑑賞しました。

木実谷院長と河島父母会長から花束・記念品が贈呈され、会場内からも盛大なお祝いの拍手が届けられました。最後に、「しまだフォトスタジオ」での記念撮影の様子が、スライドショーとして紹介されました。

(編集委員 高橋 節夫)



第15回島田セミナー 発達障害とてんかんの相互的アプローチ

7月13日(土)、島田療育センター
厚生棟にて第15回島田セミナーを
開催しました。ここ数年、行動面と脳
波異常あるいはてんかんに関して
は、小児関連の学会等でも話題の
テーマです。今回、基礎的な脳波検査
と最新の知見を学ぼうという趣旨で企画しました。セミナーのトップバッターに「脳波検査のコツ」を当法人医療部臨床検査(脳波担当)東聡子が講演、次に「ADHDの薬物



療法～4つの薬を使いこなす～」を当法人外来統括部長兼児童精神科医長 野村健介が講演させていただきました。ゲスト講師として、国立精神神経医療研究センター特命副院長 中川栄二先生をお招きし、「てんかんと発達障害」と題して最新最新のデータと生き生きとした臨床経験についてお話しいただきました。延べ75名の内外の医療者・支援者が聴講し、アンケート結果からは9割「概ね満足」と好評で、また運営事務局に時間設定や配布資料に関してご意見を頂きました。このような勉強会を通じて当法人や療育に関心を持つ方が増えることはありがたいことです。
(医務部副部長 大瀧 潮)



メンタルヘルス研修を実施

7月29日(月)に安全衛生委員会主催の主任以上を対象としたメンタルヘルス研修を実施いたしました。講師には東京産業保健総合支援センターでメンタルヘルス対策促進員として活動されている小磯様をお招きしました。メンタルヘルス対策がなぜ必要なのかという基本から始まり、職場でできる予防対策、そして部下の「いつもと違う」様子に対する気づきや声掛けのポイント等が主な内容となりま

した。要所にわかりやすい具体例や小磯様ご自身の体験、ユーモラスなお話を交えてくださり、またグループワークも多く取り入れてくださったので、時折職員間でも盛り上がりが見られた研修でした。



今回は90分という長い研修ではありましたが、職場環境改善に少しでも役立てられると幸いです。
(安全衛生委員 三上 恭子)

おしらせコーナー

心理科講習会 子どもに寄り添う、
行動の見方と関わり方 ～やってみよ
うペアレントトレーニング～

日時 2019年11月5日(火)
対象 3～6歳のお子さんの保護者
定員 10名
費用 無料



詳細・お申し込みはこちら

ST講習会 お子さんのことを育て
る関わり ～身振りやサイン・遊びや
絵本の使い方を考えてみましょう～

日時 2019年10月29日(火)
対象 お子さんの言葉の発達に不安の
ある保護者・関係者
定員 20名
費用 無料



詳細・お申し込みはこちら

書籍の紹介

島田療育センター
重症心身障害児者
の療育&日中活動
マニュアル



全国書店にて販売中!

shot! ひと息

わいわい祭りでのほっと販売



実習生受入状況

2019年8月～9月

種別	人数	種別	人数
看護師	26名	理学療法士	1名
保育士	8名	作業療法士	2名
医師 (EEP)	8名	心理判定員	9名

※介護等体験実習の数は含みません

